

## 解答

問一 木

問二 苦労をしたから楽しかったという経験を重ねることで、楽しさとは苦労を重ねて勝ち取るものだという法則を導きだして、苦労の最中でも先の楽しさを想像すること。

問三 口

問四 他者のとる態度の理由 「を考えて納得すること。」

問五 相手が何を考えているかということは相手自身でもわかつていいくことが多い、本当のことはなかなかわからないので、どうして相手はこう考えるのだろうと自分なりに想像して理解したことが眞実とは違っていたとしても、それで相手について冷静な対応ができる、最終的には人間関係を悩まず楽しめるから。

問六 A 大勢 B 複雑 C 済【む】 D 損得 E 心境

問一 木

問二 A 木 B イ

問三 二

問三 葵が祖父にひどい口をきくことができたのは、本心では祖父に甘えていたからこそであり、その甘えがつい逆の形に出たものだということ。

問四 二

問五 口

問六 葵が本当に心を許せる友達や、夢中になれるものを見つけて、心に余裕が生まれれば、他人の言葉を受け入れられるようになるのだと考えて、何も言わずに待つこと。

問一 三

Ⅰ ① 豊作 ② 候補 ③ 予断 ④ 異例 ⑤ 組織 ⑥ 奮戦 ⑦ 授業  
 Ⅱ ⑧ ⑨ 火「中の栗を拾う」 ⑩ 「手」塩「にかけて」  
 ⑪ 赤「貧洗うがごとき」 ⑫ 案「ずるより生むが易し」  
 ⑬ 「自」画「自」贊 ⑭ 「金科」玉条 ⑮ 「晴」耕雨「読」 ⑯ 「一」日「千」秋